

▲▲ 登山道点検の一日

毎年の登山道点検では、迷いやすい場所を中心に標識やテープを設置しています。しかし、風で飛ばされたり向きが変わったり、巻き付けた枝木が折れてしまうなど、「以前この辺に付けたはずなのに…」と思われる場面が何度もありました。

登山道の上にも落ち葉や枝などが散乱しており、歩きづらい場所が多々ありました。本格的な整備は後日改めて行う予定ですが、できる範囲で片付けを行い、時には道をふさぐような大きな倒木も切りながら進みました。登山道点検を終えて戻ってきたのは、一番早いコースで午後3時ごろ。ほぼ一日がかりになりましたが、事故もなく全員無事に作業を終えることができました。



市職員手作りの標識をはじめ、テープや鎖のさび止めなど、各コースで必要な物を選んで持っていきます



テープの先に道はなし。過去に道迷いがあった場所は、念入りに点検します



岩が多い場所では、安全に通れるルートに印を付けていきます



木に「飲みこまれた」国民宿舎の標識



裏妙義の登山道には落ち葉が厚く積み、足元の岩や木の根に気付かないことも多いです。目印だけに気を取られないようにしましょう



幅が狭く、傾斜が急な登山道に覆いかぶさった倒木は、のこぎりで切って除去します



「三方境」の標柱も直しました

「三方境」は、旧国民宿舎や丁須の頭、谷急山^{やきゅうざん}などのコースが交差し、多くの登山者が訪れる場所です。以前から、多くの登山サイトに壊れた標柱の写真が投稿されていましたが、今回の整備で、応急的に直すことができました。まずは一安心です